

学校法人大覚寺学園
京都嵯峨芸術大学短期大学部
機関別評価結果

平成 26 年 3 月 13 日
一般財団法人短期大学基準協会

京都嵯峨芸術大学短期大学部の概要

設置者	学校法人 大覚寺学園
理事長	服部 精村
学 長	森本 武
A L O	坂田 岳彦
開設年月日	昭和 46 年 4 月 1 日
所在地	京都府京都市右京区嵯峨五島町 1

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
美術学科		150
	合計	150

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	美術専攻	12
専攻科	デザイン専攻	18
	合計	30

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

京都嵯峨芸術大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 26 年 3 月 13 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 24 年 6 月 18 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は平成 16 年制定の「大覚寺学園教育憲章」において、「建学の理念」、「学園の使命」、「学園における芸術教育の目標」、「学園が育成しようとする人材」の四つを掲げ、学園の内外に周知するとともに、「大覚寺学園教育憲章」を具体的な学習成果に反映させるための対照表を作るなど、その具現化に向けて積極的に取り組んでいる。また、学習成果の検証に向け多角的な視点から卒業生学習成果アンケートを実施するなど、PDCA サイクルに沿ってより確かな根拠に基づいた判断を行うための改善に努めている。法令順守に関しては、寄附行為及び学則に関係法令を順守する旨が明文化され、関係法令の変更等に適切に対応している。

学長諮問機関である全学組織「大学評価会議」の下、併設大学と合同の自己点検・評価委員会及び FD 委員会が年次計画や活動報告、短期大学運営上の案件に関する自己点検・評価活動を推進しており、平成 22 年度には杉野服飾大学短期大学部との相互評価も実施されている。

学位授与の方針は、大覚寺学園教育憲章等に記された人材育成目標、学習成果に対応しており、ウェブサイトに掲載され周知されている。教育課程編成・実施の方針に基づく教育課程の整備や適切な学生支援に向け、教職員及び各種委員会が学生の情報を一元管理するために、「学生カルテ」や「キャリアカルテ」の整備を進めるとともに、「カリキュラム・マップ」や「カリキュラム・ツリー」を作成し、教育課程を学生により分かりやすく提示する工夫もしている。また、入学者受け入れの方針は意欲と基礎的能力の把握・評価を重視する内容とし、美術を授業科目として開講していない高等学校の受験生にも広く門戸を開いている。

学生の学習支援として実技系専門必修授業では少人数クラスを編成し、学習進度に合った個別指導を行うなど基礎的技能的個人差に対応している。また、メンタルヘルスケアのため学生相談室には心理カウンセラーが配置され、保健室、学生支援課が窓口となって学生の相談に応じており、障がいのある学生の受け入れに向けて、バリアフリー対策などの修学支援も充実している。進路支援に関しては、併設大学との協力

体制の下、進路ガイダンス、選考試験対策講座、資格取得講座等の多彩かつ多様な講座を、年間を通して常時開講している。

教員組織は短期大学設置基準を満たしており、多岐にわたる専門分野に対応する教員を配置している。教育研究活動を活発化させるための工夫がなされ、研究発表の場としての「Salon de Saga」や、「京都嵯峨芸術大学専任教員作品・研究ファイル」等による研究成果の公表なども積極的に行っている。FD活動はFD委員会規程に従って活発に行われ、特に学友会と共催の、教職員と学生の座談会「FDカフェ」は、学生と教職員による闊達なコミュニケーションの場として機能しているだけでなく、教職員の教育目的や方法に関する意識向上の場となっている。

事務組織は事務組織規程が整備され、事務局各部署は業務分掌の調整を図り業務を遂行している。SD活動については「職員研修規程」等を整備し、「事務職員育成方針」の策定や、中堅・若手職員育成を目的とした「事務局将来構想研究会」の設置など、情報の共有化を進め、課題発見から解決に至るまで活発な検討を続けている。

校地・校舎は短期大学設置基準を充足し、施設設備に関しては、附属博物館、附属図書館、各種ギャラリーが特色を有しており、技術的資源としての情報処理演習室及び各分野の演習室も質・量ともに充実していて、学生の様々な分野の制作活動を支援する体制が整っている。財政状況を改善するために、平成24年度に6年間の中期計画とその財政シミュレーションをまとめており、新たな分野の開設による教育内容の充実や教職員一丸となった学生募集のための広報活動等の展開が期待される。

理事長は、建学の理念の実現に向けてリーダーシップを発揮し、寄附行為の規定に基づき理事を招集し、議長として適切に理事会を運営している。学長は教授会規程に従い教授会を適切に運営しており、教授会の下部組織である教務委員会、学生部委員会及び入試委員会の長となる部長職を学長が任命することで、リーダーシップを発揮しやすい体制を構築している。監事は寄附行為に基づき選任され、学校法人の業務及び財産の状況を監査するとともにその結果を監査報告書にまとめ、理事会・評議員会に報告しており、適正に業務を遂行している。評議員会も理事定数の2倍を超える評議員によって構成され、寄附行為に基づき適切に運営されている。また、平成23年度より、学内理事を中心に常任理事会を立ち上げ、学校法人と短期大学との関係の一層の緊密化と、迅速な運営に向けて改革を進めている。教育情報は短期大学案内、学生便覧及びウェブサイト等で公表されており、財務情報もウェブサイトで公開されている。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ A 建学の精神]

- 「大覚寺学園教育憲章」において、当該学校法人の設立母体である真言宗大覚寺が始祖と仰ぐ嵯峨天皇及び宗祖弘法大師の精神を「建学の理念」として継承し、伝統ある京都に位置する芸術系短期大学としての「学園の使命」を掲げるとともに、「学園における芸術教育の目標」、「学園が育成しようとする人材」を掲げることで、建学の精神の具現化に向けた道筋を明確化している。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

- 教育目標を教育課程別の学習成果に連動させた対照表のほか、学生の教育課程編成・実施の方針への理解の一助として「カリキュラム・マップ」、「カリキュラム・ツリー」を作成している。さらに、個々の科目が教育課程全体の中で有する役割・位置を視覚化するとともに、教育課程全体の改善を図ることにも役立てている。

[テーマ B 学生支援]

- FD委員会と学友会共催の教職員と学生の座談会「FDカフェ」は、学生に対する初年次教育の役割を果たすだけでなく、学生一人ひとりの当事者意識を喚起し、学生自治への関心を高めるとともに、教職員の教育目的や方法に関する意識向上の場ともなっており、教育力の向上に大いに貢献し得る企画となっている。
- 心身の不調を訴える学生への対応として、学生相談室に4名の心理カウンセラー（臨床心理士）を配置するとともに、学生支援課、保健室が窓口業務を行い、教員と緊密な連絡体制を構築しており、学生の多様性に配慮した取り組みを行っている。また、学生の修学状況、学習支援状況、生活支援状況等を記録した「学生カルテ」を通して教職員間の情報共有がなされている。
- 正課外キャリア支援として、キャリア支援に関する講座や説明会を年間40～50回開催しており、進路ガイダンス、資格取得講座や選考試験対策講座、ビジネスマナー講座等を年間を通して常時実施している。また、情報の共有化と指導の一貫性、学生把握の強化を目的に、入学から卒業までの個人記録簿「キャリアカルテ」が作成され、キャリア支援課と各研究室との密接な連携が図られている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 芸術系の特徴として、専門実技系の教員が多数を占め、研究活動としては作品制作と展覧会等への出品が中心となりやすいが、紀要等も充実しており、学内の研究発表会「Salon de Saga」の開催や「京都嵯峨芸術大学専任教員作品・研究ファイル」

の作成等、研究成果発表の場を設け、学内の研究意識の向上を図っている。

- 学園全体を取り巻く厳しい環境や新しい時代の要請に迅速に対応するため、事務職員の能力開発を企図し、「事務局将来構想研究会（通称 SD10）」を立ち上げ、将来に向けて中堅・若手職員の育成に取り組んでいる。

（２）向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ B 教育の効果]

- 芸術教育という特性から、学習成果を評価するために、正課内活動に留まらず、正課外教育（課外活動、アルバイト、奉仕活動、家庭生活等）も取り入れ、総合的な視点から判断するという試みがなされているが、その際に不可欠な、客観的な基準が明確化されておらず、より確実な根拠に基づく評価方法の確立が望まれる。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- AO入試での入学予定者以外には入学前指導が実施されていないので、休学・退学への抑止対策の一つとして、入学予定者に入学準備プログラムを行い、制作に対する意欲付けを実施されたい。
- シラバスの項目に記述のないものがみられ、学生支援の視点からも、実習教科の項目の更なる具体化を進め、シラバスの充実を図られたい。

（３）早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準		評価結果
基準Ⅰ	建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ	教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ	教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ	リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

当該短期大学は、学校法人の設立母体である真言宗大覚寺が始祖と仰ぐ嵯峨天皇及び宗祖弘法大師の精神を継承し、平成 16 年に制定した「大覚寺学園教育憲章」において、建学の理念、学園の使命、学園における芸術教育の目標、学園が育成しようとする人材の四つを掲げており、芸術的情操に基づく学校教育を目的とする建学の精神を明確に示している。

美術学科の教育目標は大覚寺学園教育憲章に準拠したものとなっており、教育目標、学習成果ともに、現代社会の変化への対応を図りつつ、大覚寺学園教育憲章との整合性に配慮して策定されている。

教育課程の学習成果は、正課内教育だけでなく、正課外教育（課外活動、アルバイト、奉仕活動、家庭生活等）の成果も取り込んだ総合的な評価となっている。また、学習成果の評価のために定められた四つの観点（「知識・理解」、「論理的、創造的思考力」、「態度・価値観・倫理観」、「技術・技能・表現」）を踏まえ、学生授業評価アンケート及び卒業生学習成果アンケート等を活用して学生が達成度を自己評価できるシステムを取っている。こうした評価の多角化は、成績評価において困難な実技系科目の成果評価等を考慮した総合的・複眼的な評価に向けての試行であり、教育の質保証とともに、評価の公平性確保に努めている。また、それらのアンケート結果は、貴重なデータとして教育改善に向けてフィードバックされている。

法令順守に関しては、寄附行為及び学則に関係法令を順守する旨が明文化され、関係法令の変更等に適切に対応している。自己点検・評価については、外部評価への対応と学園の将来計画に関する検討を行う学長の諮問機関「大学評価会議」の下、併設大学と合同の自己点検・評価委員会と FD 委員会が年次計画や活動報告を行い、短期大学運営上の案件に関する自己点検・評価活動を推進している。平成 23 年度には教職員による自律的な短期大学運営を実現する目的で学内討論会が開催され、教職員間の意識の共有が図られた。平成 22 年度には、杉野服飾大学短期大学部との相互評価も実施されている。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

学位授与の方針は、大覚寺学園教育憲章等に記された人材育成目標、学習成果に十分に対応しており、明確で社会的通用性がある。学位授与の方針は、ウェブサイトに掲載されているほか、学生授業評価アンケート実施の際に口頭でも周知されている。

教育課程は教育課程編成・実施の方針に従って体系的に編成され、成績評価は適切になされている。教育課程は教育の分野・領域別に構成され、卒業に必要な取得単位数の配分も適切である。またカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーを作成し、教育課程の全体像を分かりやすく学生に示すとともに、教育課程全体の改善への礎としている。大覚寺学園教育憲章には学園が育成しようとする人材が明確に規定され、この方針に基づき入学者受け入れの方針を制定している。意欲と基礎的能力の把握・評価を重視する内容とし、美術を授業科目として開講していない高等学校の受験生にも広く門戸を開いている。

学習成果の査定は、明確な基準の下に総合的に評価するシステムの運用が開始されている。その査定の一環として、就職先アンケートを活用しようとする試みが平成 24 年度から行われており、今後評価の精度向上、経年変化のデータ蓄積等により、卒業後評価の充実が期待される。

学生の学習支援として実技系専門必修授業では少人数クラスを編成し、学習進度に合った個別指導を行うなど基礎的スキル個人の差に対応している。導入教育科目「教養ゼミ」の担当者による担任制度も、専門分野の教員との連携によりきめ細かい指導に結び付いている。メンタルヘルスケアのため学生相談室には心理カウンセラーが配置され、保健室、学生支援課が窓口となって学生の相談に応じており、教員との連絡体制も整備されている。また、障がいのある学生の受け入れに向けて、バリアフリー対策を実施するだけでなく、車いす使用学生や聴覚障がい学生への修学支援等も充実している。

キャリア支援センターによる進路相談全般への助言・指導のほか、キャリア支援のための各種教育プログラムが提供されている。特に、各種講座や説明会は年間 40～50 回開催され、情報の共有化と指導の一貫性を目的とした個人記録簿「キャリアカルテ」の作成による情報の一元化も図られている。

入学者受け入れの方針は募集要項、ウェブサイトに掲載され、その方針に基づき複数の入学試験制度を設け、公正かつ適切に実施している。特に AO 入試においては入学準備プログラムを充実させ、入学予定者の修学意欲の維持・向上に努めている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

教員組織は短期大学設置基準を満たしており、教育課程編成・実施の方針に基づき教員が適切に配置されている。教員の採用、昇任は就業規則、選考基準等に基づき人事選考委員会を設置し、教授会で決定している。研究活動は、教育課程編成・実施の方針に基づいて行われ、学科の性格により実技系教員が多く、その成果は作品制作、展覧会出品、個展開催等であり、学内研究発表会（「Salon de Saga」）や「京都嵯峨芸術大学専任教員作品・研究ファイル」の作成など、研究成果発表の場を多様化し、学

内の研究意識の向上を図っている。

事務組織は併設大学と共通組織で、事務組織規程を整備し、事務局各部署は業務分掌の調整を図りながら業務を遂行している。SD 活動については、職員研修規程の整備や事務職員育成方針の策定、オン・ザ・ジョブ・トレーニングの活用等により事務職員育成等の体系化に努力している。また新しい時代要請に対応するため、事務局将来構想研究会を立ち上げ、中堅・若手職員育成に取り組んでいる。人事管理は、就業規則等に基づいて適切に行われており、「大覚寺学園行動規範」を学園全体の倫理綱領として制定している。

校地・校舎は短期大学設置基準を満たしており、校舎の耐震化、バリアフリー化等のキャンパス整備は計画的に実施されている。地域社会に向けた企画・展示業務が展開され、施設設備の市民開放も積極的に行われている。教育課程に適した講義室、演習室、実習室等が準備され、適切に整備・活用されている。附属図書館は、学園の規模に比較して充実しているが利用者の増加が課題である。

技術的資源である ICT 関連機器については、専門職員を配置し、積極的な活用と学生・教職員の指導や相談に対応している。また、学生支援のために無線 LAN を整備して先端技術を積極的に活用できる環境を整えている。

財的資源については、平成 23 年度、学校法人全体及び短期大学部門の帰属収支が支出超過となっており、学生募集等の収入増加策が課題である。6 年間の経営計画としての中期計画とその財政シミュレーションを策定しており、今後は中期計画の着実な実行と、学生募集のための広報活動の更なる展開が望まれる。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

学校法人は、私立学校法や寄附行為に準拠した適切な法人運営を行っている。理事長は、建学の理念に沿って学園を教導する目的から、適正に選出された理事のうち、設立母体である真言宗大本山大覚寺の執行長（宗務総長）が歴代務めており、理念の実現に向けてリーダーシップを発揮し、議長として適切に理事会を運営している。また、平成 23 年度より社会のニーズを反映し、迅速な改善に向けて具体的な方針を策定するために常任理事会を設置し、短期大学等の運営に関する課題を審議し、理事会に上程している。

学長は学長選任規程に準じて選任されており、教授会は、教学上の審議機関として教授会規程に従い適切に運営されている。また、教授会の下部組織の各種委員会の委員長を学長が任命し、リーダーシップを発揮しやすい体制を構築している。さらに、平成 25 年度に「学長室」の新設を準備する中で、常任理事会の意思を直接教職員に反映し、理事会・常任理事会と併設大学・短期大学との意思疎通を活発化するなど、更なる改善に向けた取り組みがなされている。

監事は寄附行為に基づき選任され、適正に業務を遂行し、学校法人の業務及び財産の状況を監査するとともに、その結果を監査報告書にまとめ、理事会・評議員会に報告している。また、監事は理事会・評議員会で意見を述べるだけでなく、「監事懇談会」を開催し、理事長、学長、担当事務局に財務の面から改善を進言している。

理事定数の 2 倍を超える評議員は、寄附行為に基づき適切に選出されている。構成員として、教職員、学識経験者の他に、嵯峨御流華道総司所の華道教員、卒業生や教育後援会から選任されることで、多様かつ多角的な視点から学園運営への意見を吸い上げる体制が整えられている。

学園全体のガバナンスは、理事長、学長のリーダーシップ発揮に向け、積極的に組織改革を実施し、適切に機能している。平成 24 年度には、今後 6 年間の中期計画と財政シミュレーションを策定し、それらを事業計画と予算へ反映することによって、改革を推進している。教育情報は短期大学案内、学生便覧及びウェブサイト等で公表されており、財務情報もウェブサイトで公開されている。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは 4 基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4 基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

地域貢献の取り組みについて

総評

当該短期大学は、大覚寺学園教育憲章の「学園の使命」において「芸術教育の拠点を築き、わが国の芸術文化の振興に寄与する」と明記しているとおり、京都という地の利と専門領域である芸術分野の特性を生かし、多岐にわたる地域貢献を行っている。地域社会に対しては、「ものづくり講座」、「文化講座」、「こども講座」等の生涯学習講座を毎年多数開催しているほか、正規授業も平成 16 年度以降毎年開放し、学生とともに一般の受講生を受け入れている。また、附属博物館や附属図書館、附属ギャラリーを地域に開放するとともに、学内の様々なスペースを活用し、所蔵作品の展示、学生・卒業生・教員の作品展の開催など、地域の人々が芸術に直接触れる機会を提供することで、交流と貢献を推進している。

また、文化や美の意識に敏感で、高い審美眼を持つ京都の行政機関や地域の大学との連携協定に基づき、地元の自治会と「相互応援協定」を結ぶなど、芸術分野を有する当該短期大学の特性を生かした形で、様々な協力活動を率先して実施している。具体的には、地域活性化に向けた文化企画に対する講師派遣、京都という歴史・文化への関心や造詣が深い地域社会が行うイベントへの審査員派遣、そして新たに開設したマンガ分野の特性を生かし、電気鉄道会社の協力の下、地域の魅力を積極的に外部に紹介するマンガの作成など、多岐にわたる活動を実施している。

ボランティア活動にも積極的で、附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、平成 17 年度以来、児童を対象とした絵本の読み語りや伝承遊びを組み合わせたボランティアを学生中心に実施し、近隣の児童館にも学生メンバーをボランティアとして派遣している。また、併設大学開講の「ボランティア演習」は単位互換科目として、短期大学の学生にも積極的な参加を促している。

平成 25 年度には、これらの多岐にわたる活動を統括し、活発な交流を推進するために関連部署を統合して「文化事業推進部」を立ち上げ、外部からのニーズを集約し組織的に対応する体制を整え、ボランティア活動を通して地域との更なる交流・貢献に取り組んでいる。学園の様々な企画が、併設大学と当該短期大学との共催で実施されているが、それぞれの役割分担と責任を明確にするため、短期大学としての独自性と

魅力をより鮮明にし、外部へと発信することが期待される。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 生涯学習講座等の地域に開放された公開講座は多彩で、その多くは併設大学とともに学園として開催され、平成 24 年度は全 75 の講座が開講されている。また、京都の地の利を意識した「京の美意識」という短期大学の正規授業の開放は、その内容も充実し、講義録も作成するなど、当該短期大学の名物講義となっている。また、JR 西日本嵯峨嵐山駅と連携して同駅構内への展示作品を提供する事業や、京福電気鉄道株式会社が運行する「嵐電」をテーマにしたマンガの作成等、新たに導入した分野の特性を生かした活動は、現代のニーズを汲み取りながら、更なる可能性に向けて展開されている。
- 附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」での、児童を対象にした絵本の読み語りや伝承遊びを組み合わせたボランティア活動は、長年にわたり実施されており、今後の発展的な継続が期待できる。